

項目	内容
名称	サキシマボタンヅル、イレイセン、シナボタンヅル [英]Chinese clematis [学名]Clematis chinensis
概要	サキシマボタンヅルは中国、台湾、沖縄を産地とするキンポウゲ科の多年生草本。根は生薬名のイレイセン（威霊仙）の基原植物のひとつである。イレイセンは神経痛、腰痛などに用いられ、日本では、「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」に該当するため、根、根茎を食品に使用することはできない。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イレイセン根、根茎：「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」に該当する。</li> <li>・イレイセン葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に該当する。</li> </ul> <p>■ 日本薬局方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イレイセン（威霊仙）が記載されている。</li> </ul>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・トリテルペンサポニン等を含む（101）。
分析法	-

有効性	
循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (101) 健康・機能性食品の基原植物事典 中央法規 (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)